

グローバル・エマージング・ボンド・オープン

愛称：受取物語

追加型投信／海外／債券 特化型

作成対象期間：2019年11月12日～2020年5月11日

第 256 期 決算日：2019年12月10日 第 259 期 決算日：2020年3月10日

第 257 期 決算日：2020年1月10日 第 260 期 決算日：2020年4月10日

第 258 期 決算日：2020年2月10日 第 261 期 決算日：2020年5月11日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債（エマージング・カントリー公社債）を主要投資対象とし、長期的な高水準の利子等収益の確保と売買益の獲得をめざして運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第261期末（2020年5月11日）

基準価額 5,801円

純資産総額 14,787百万円

第256期～第261期

騰落率 - 0.9%

分配金合計(*) 120円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

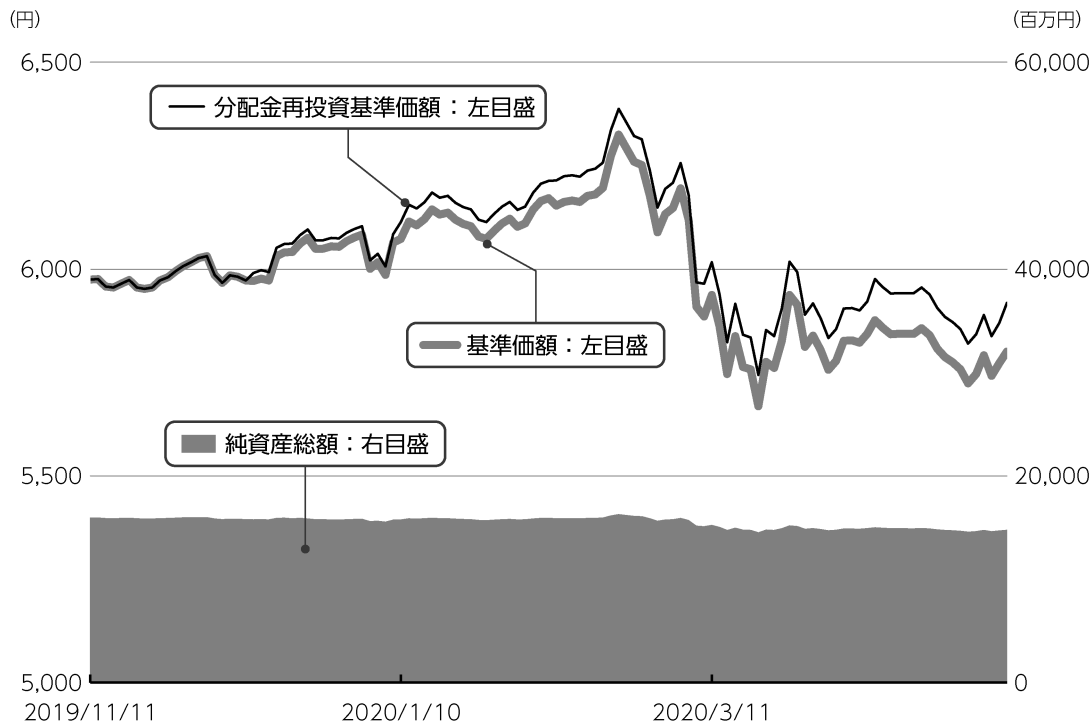
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第256期～第261期：2019年11月12日～2020年5月11日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第256期首	5,975円
第261期末	5,801円
既払分配金	120円
騰落率	-0.9%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

エマージング債券市況が下落したことや米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

2019年11月12日～2020年5月11日

1万口当たりの費用明細

項目	第256期～第261期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	50	0.832	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(30)	(0.494)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.283)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.014	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	51	0.846	

作成期中の平均基準価額は、5,987円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

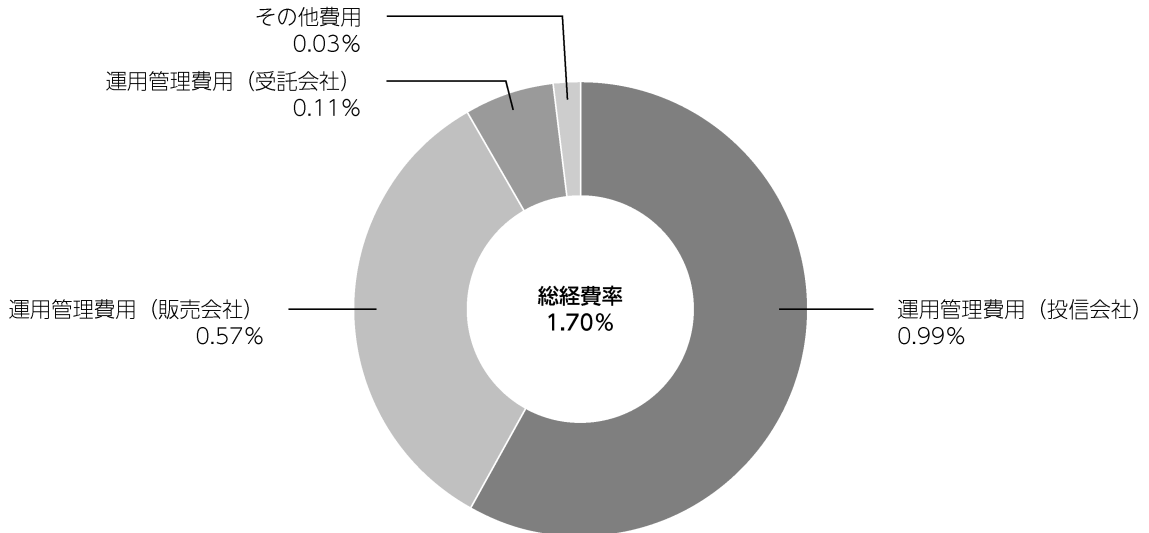
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.70%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

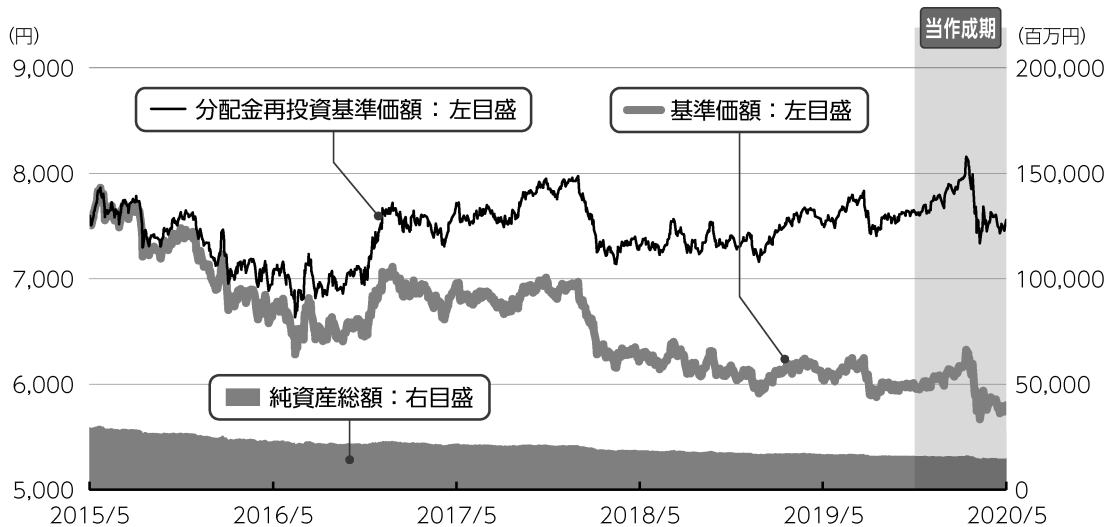
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2015年5月11日～2020年5月11日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2015年5月11日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

		2015/5/11 期初	2016/5/10 決算日	2017/5/10 決算日	2018/5/10 決算日	2019/5/10 決算日	2020/5/11 決算日
基準価額	(円)	7,590	6,675	6,921	6,215	6,051	5,801
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	360	360	360	360	290
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	-7.5	9.4	-5.2	3.2	0.6
純資産総額	(百万円)	29,552	23,024	21,794	18,503	16,749	14,787

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第256期～第261期：2019年11月12日～2020年5月11日

投資環境について

▶ 債券市況

エマージング債券市場は下落しました。
当作成期は、2020年1月下旬以降、新型コロナウイルス感染拡大の世界経済への悪影響が懸念されたことや原油価格の下落によってリスク回避姿勢が強まったことなどがマイナスに影響し、エマージング債券市場は下落しました。

▶ 為替市況

米ドルは対円で下落しました。
当作成期は、2020年1月下旬以降、新型コロナウイルス感染拡大の世界経済への悪影響が懸念されたことを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に、米ドルは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

組入比率

現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

資産配分

米国国債の組み入れを維持しつつ、エマージング債券市場において比較的信用力が高いと考える国の国債を中心に運用しました。

国別配分等

当作成期では、米国国債の組入比率を引き上げた一方、ファンダメンタルズやバリュエーション面等を勘案し、アルゼンチンなどの組入比率を引き下げました。

金利戦略

デュレーションについては、機動的に水準を調整し、当作成期末時点のデュレーションは、当作成期初と比べ長期化しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第256期 2019年11月12日~ 2019年12月10日	第257期 2019年12月11日~ 2020年1月10日	第258期 2020年1月11日~ 2020年2月10日	第259期 2020年2月11日~ 2020年3月10日	第260期 2020年3月11日~ 2020年4月10日	第261期 2020年4月11日~ 2020年5月11日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 (0.334%)	20 (0.328%)	20 (0.324%)	20 (0.339%)	20 (0.339%)	20 (0.344%)
当期の収益	13	20	20	10	11	12
当期の収益以外	6	-	-	9	8	7
翌期繰越分配対象額	1,435	1,436	1,436	1,426	1,418	1,410

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、グローバル経済は突然の活動停止に見舞われました。このような状況が、リスク資産が一般的に割高な水準で取引され、先進国の国債利回りが歴史的な低水準にあり、金融政策が既に非常に緩和的で、米国の景気サイクルの拡大期が引き延ばされている環境下で起こりました。そのため、2020年2月下旬から2020年3月のグローバル金融資産の価格調整は無秩序な動きとなり、各国政府および中央銀行は大規模な政策対応を実施しました。これらの対応を受けて金融市場は一旦落ち着きを見せていますが、政策のコストに対する懸念が今後高まる可能性があるとみています。一部のエマージング国では利下げを実施し、足元の混乱が財政危機や深刻な信用収縮へと波及するリスクを低下させているほか、十分な外貨準備を有することで原油価格急落のショックを吸収することができており、今後原

油供給減少が原油価格回復につながれば、これらの国の回復の兆しが見えると考えられます。

引き続き、新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債を主要投資対象とし、高水準の利子収益の確保と売買益の獲得をめざす方針です。エマージング国債等の銘柄選定については各国のファンダメンタルズ分析とクレジット・リスク分析に基づいて行うとともに、機動的に米国国債を組み入れることによってパフォーマンスの安定性に配慮した運用を行います。

エマージング債券市場において比較的信用力が高いと考える国の債券を中心に、米国国債も一部組み入れて運用する方針です。一方でバリュエーション面で投資妙味があると判断した債券については、市況動向を見極めながら新規組み入れや組入比率の引き上げを検討します。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

- ・該当事項はありません。

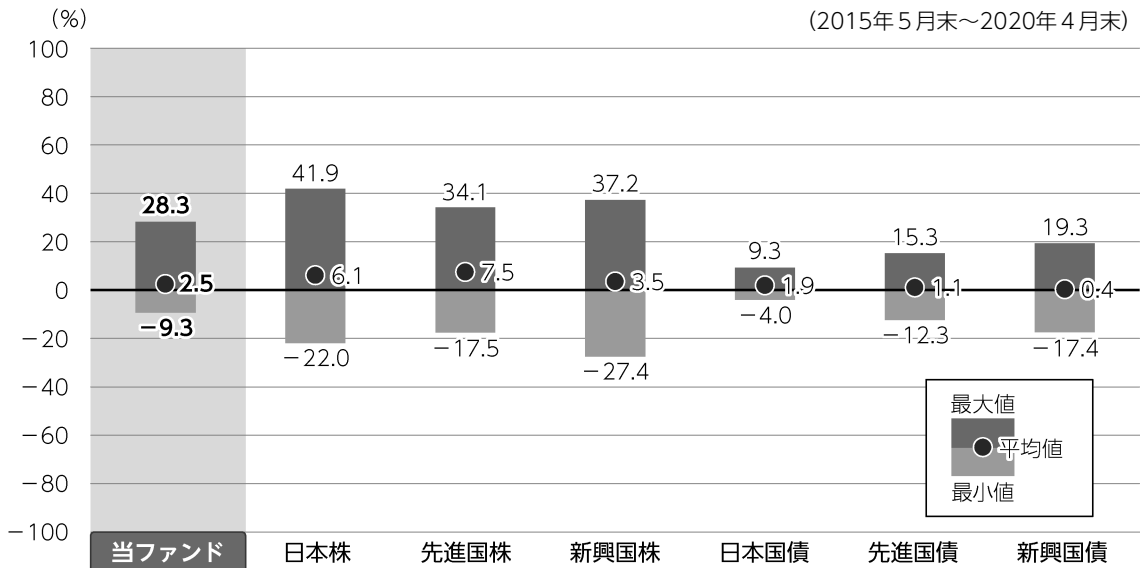
*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券 特化型
信託期間	2023年7月10日まで（1998年7月31日設定）
運用方針	新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債（エマージング・カントリー公社債）を主要投資対象とし、分散投資を行います。各国のファンダメンタルズ分析とクレジット・リスク分析に基づく銘柄選定を基本とします。機動的に米国国債にシフトすることによって、パフォーマンスの安定性を高めます。原則として外貨建資産については為替ヘッジを行いません。運用の指図に関する権限は、シュロージャー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに委託します。
主要投資対象	米ドル建てエマージング・カントリー公社債を主要投資対象とします。
運用方法	新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債を主要投資対象とし、長期的な高水準の利子等収益の確保と売買益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

- ◆ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度*が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
 - ◆ファンドは、新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債（エマージング・カントリー公社債）を主要投資対象としております。エマージング・カントリー公社債には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、投資先について特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄にデフォルト等の発生があった場合には、大きな損失が発生することがあります。
- * 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2015年5月から2020年4月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2020年5月11日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：38銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	2 T-NOTE 250215	債券	アメリカ	国債	6.2
2	2 T-NOTE 240531	債券	アメリカ	国債	6.1
3	4.5 BRAZIL 290530	債券	ブラジル	国債	5.5
4	2.875 T-NOTE 231031	債券	アメリカ	国債	5.1
5	2.375 T-NOTE 290515	債券	アメリカ	国債	4.9
6	4.875 RUSSIA 230916	債券	ロシア	国債	4.6
7	2.125 T-NOTE 240930	債券	アメリカ	国債	4.5
8	3.75 MEXICO 280111	債券	メキシコ	国債	4.2
9	2 T-NOTE 250815	債券	アメリカ	国債	4.1
10	5.875 REPUBLIC OF 250916	債券	南アフリカ	国債	3.6

※比率は純資産総額に対する割合です。

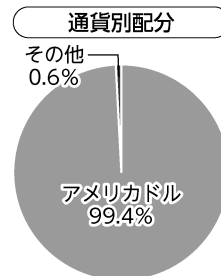
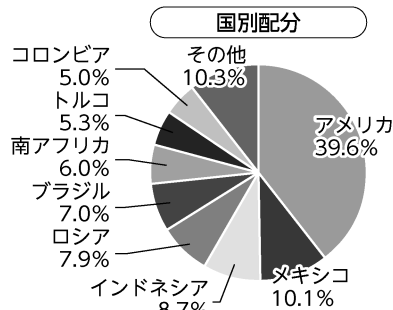
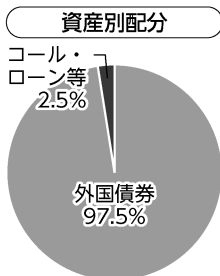
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

項目	第256期末 2019年12月10日	第257期末 2020年1月10日	第258期末 2020年2月10日	第259期末 2020年3月10日	第260期末 2020年4月10日	第261期末 2020年5月11日
純資産総額 (円)	15,797,720,135	15,789,085,967	15,896,732,170	15,130,898,819	15,028,169,394	14,787,701,218
受益権口数 (口)	26,458,118,430	25,999,939,402	25,835,005,128	25,705,248,180	25,571,795,804	25,491,386,795
1万口当たり基準価額 (円)	5,971	6,073	6,153	5,886	5,877	5,801

※当作成期間中（第256期～第261期）において追加設定元本は 27,523,089円
同解約元本は1,271,694,631円です。

種別構成等



※比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信